

キリマンジャロ登頂記（１）

昨年末からキリマンジャロ登山を実現すべく、アルパイン・ツアーのツアー説明会などで情報収集したが、結局、費用がやや安い西遊旅行社のツアーに申し込むことにした。当初は９月１５日出発予定だったが、現地のロッジの確保が出来ないとのことで１７日出発という事になった。

日程は以下です。

【キリマンジャロツアー日程表】

9/17	東京／大阪 バンコク		空路、東京・大阪よりそれぞれバンコクへ。着後、航空機を乗り換えます。 ※添乗員は東京・大阪のどちらか一方より同行し（往復）、バンコクにて合流します。 機中泊
9/18	バンコク アディスアベバ キリマンジャロ空港 モシ		空路、エチオピアの首都アディスアベバへ。着後、航空機を乗り換えて、ナイロビ経由でタンザニアのキリマンジャロ空港へ。着後、モシのホテルへ。 モシ泊
9/19	モシ マランゲート マンダラハット	1800m 2727m	専用車にて、登山口のマランゲート(1,820m)へ。 ●登山(約４時間) ガイド、ポーターと合流して登山開始。ゆるやかな樹林帯の道をマンダラハット(2,730m)へ。 マンダラハット：山小屋泊
9/20	マンダラハット ホロンボハット	2727m 3720m	●登山(約６時間) キボ峰、マウエンジ峰を眺めながら、草原の中をホロンボハット(3,720m)へ。 ホロンボハット：山小屋泊
9/21	ホロンボハット滞在 (高度順応)	3720m	終日、高度順応のため滞在。ご希望の方は、マウエンジ峰方面へのトレッキング等をお楽しみください。 ホロンボハット：山小屋泊
9/22	ホロンボハット キボハット	3720m 4750m	●登山(約６時間) 湿地から砂礫の道をゆっくり歩き、キボハット(4,703m)へ。 キボハット：山小屋泊
9/23	キボハット	4750m	●キリマンジャロ登頂(10～12 時間)

	キリマンジャロ山頂	5895m	深夜にキボハットを出発し、登山開始。ヘッドランプの明かりを頼りにつづら折りの道を登り、岩場を抜けて山頂の ギルマンズ・ポイント(5,682m)に登頂 。体調の良い方は、さらに先の ウフル・ピーク(5,895m)に登頂 。その後、一気にホロンボハットまで下山。
	ホロンボハット	3720m	ホロンボハット: 山小屋泊
9/24	ホロンボハット マランゲート アルーシャ	3720m 1800m	●下山(約 5 時間) 往路をマランゲートへ下山。登頂者には 登頂証明書 が発行されます。 その後、専用車にてアルーシャへ。 アルーシャ泊
9/25	アルーシャ キリマンジャロ空港 アディスアベバ		午前中、美しい山容のメルー山の麓、 アルーシャ国立公園でサファリ をお楽しみいただきます。その後、専用車にてキリマンジャロ空港へ。航空機にて、ナイロビ経由でアディスアベバへ向かいます。着後、航空機を乗り換えます。 機中泊
9/26	アディスアベバ バンコク		航空機にてバンコクへ。着後、空港内のホテルにて休養。その後、航空機にて、東京・大阪それぞれ帰国の途につきます。 バンコク: 空港内ホテル仮泊／機中泊
9/27	東京／大阪		着後、解散。

【キリマンジャロって？】

アフリカの最高峰（5895m）で、タンザニアにあります。

NHK の「世界の名峰」や最近では 24 時間 TV でお笑いタレントのイモトが登ったりと流行りの山？になってしまったようです。

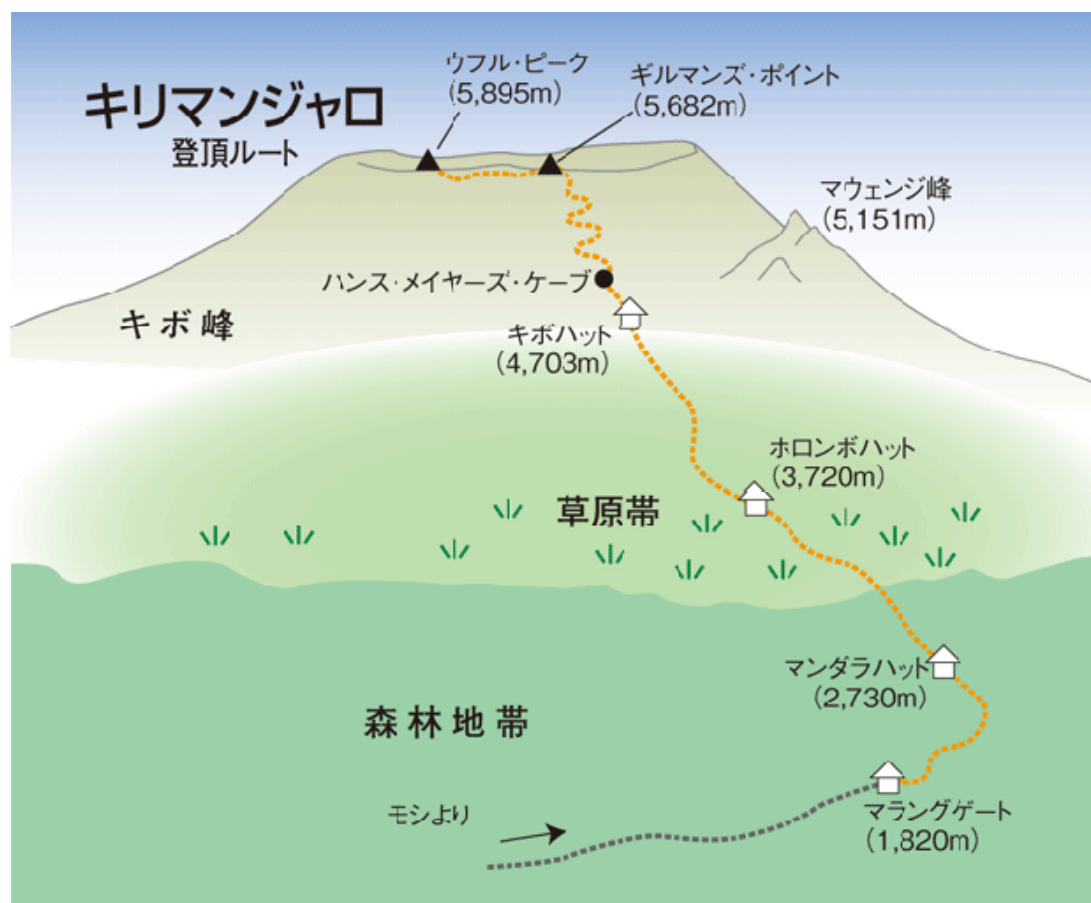
西からシラ峰(Shira、3962m)、キボ峰(Kibo、5895m)、マウエンジ峰(Mawenzi、5149m)の 3 つから成る世界で一番高い火山です。

キリマンジャロは、赤道直下（南緯 3 度 5 分）にもかかわらず、頂上付近には氷河があることでも有名ですが、地球温暖化の影響で近い将来、氷河が消滅してしまうと言われています。また、登頂にアイゼンやピッケル、ザイルなどの特別の装備が要らない山では一番高いとされています。まあ巨大な富士登山と思えばよさそうです。

2009 年に行ったエヴェレスト街道は、コース途中に幾らでもロッジがあり、一日に標高差 500m が目安でしたが、今回は 1000m おきにしかロッジがありません。そして、それは最後のロッジ「キボハット」4750m から山頂ウフルピーク 5895m まで、やはり 1000m 以上

を一気に登るまで続きます。これでは高山病にならない方が不思議なくらいです。程度の差はあっても“必ず高山病になる”と考えておくべきでしょう。

【登山ルート】



コカコーラ・ルートの異名があるマラング・ルート。ハットと呼ばれるロッジを使える一番楽なルートです。

ギルマンズ・ポイントからウフル・ピークは、ちょうど富士山のお鉢巡りのようなもので、ウフル・ピークが剣ヶ峰に相当します。ギルマンズ・ポイントまで登ると登頂証明書が出ます。ウフル・ピークに登頂した証明書とは文面が少し違うようですが。

【予防接種】

「黄熱病」の予防接種が必要とのこと。6月初旬に横浜の防疫センターで接種を受けましたが、「黄熱病」って、そんなのまだあるんだ。野口英世を思い出させますね。

マラリア、破傷風、A型肝炎にも注意が必要だとか。

ただし、夜間に低湿地に宿泊しなければ、マラリアもそれほど心配しなくてもよさそうです。ハマダラ蚊は夜間に活動するようです。一応、用心のため、虫除けスプレーは飛行機

に持ち込めないので、虫除けジェルを持っています。

【参加者説明会】

8月24日、西遊旅行でミーティングがありました。成田から6名、関空から5名、あと名古屋から1名で計12名の参加です。バンコクで全員集合となるそうです。参加者名簿はバンコクで配られるそうで、参加者の詳細は今のところは不明です。ミーティングには成田組の6名中私を入れて5名が来ていました。皆さんそれなりに年配の方でした。ご夫婦と思われる方もいました。

【持ち物】

今回は11日間で、ネパールの半分ですから、荷物も若干少なめです。とは言っても寒暖の差が大きいので、それなりに大荷物です。大型スーツケースと27リットルのサブザックに何とか収まりそうです。スーツケースは20kg制限ギリギリです。そうそう、クマさん会の旗も忘れず入れました。



(持ち物リスト)

	品名	数	備考
衣類	半袖シャツ	3	
	下着(パンツ)	5	
	下着(タイツ)	1	
	長袖シャツ(薄手)	1	
	長袖シャツ(厚手)	1	
	セーター	1	

ダウンジャケット	1	
ウィンドブレーカー	1	
帽子(登山用・毛糸)	2	
マフラー	1	
ズボン(薄手)	1	
ズボン(厚手)	1	
ソックス(綿)	1	
ソックス(登山)	2	
ソックス(夜間用)	1	
ナイロンソックス	2	
スパッツ	1	埃よけ
手袋	1	
手袋(インナー)	1	
軍手	1	
雨具(レインスーツ)	1	
折り畳み傘	1	
ヘッドランプ	1	
電池(HL 用)		
ナイフ・フォーク・箸	各 1	
シュラフ	1	レンタル

用品

スーツケース(大)	1
大型バッグ	1
ザック(小)	1
双眼鏡	1
登山靴	1
登山用ステッキ	1
ウォーキングシューズ	1
サンダル	1
ステンレスボトル	1
デジタルカメラ	1
充電器	1
時計	1
爪切り	1
タオル	2

	タオルハンカチ	2	
	石鹸	1	
	洗面具	1	
	かみそり	1	
	トニック	1	
	リキッド	1	
	歯磨き・歯ブラシ	1	
	マスク	1	埃よけ
	サングラス	1	
	ロールペーパー	2	
	ポケットティッシュ	5	
	シールド袋	4	
	ビニール袋	3	
薬品	風邪薬	1	
	ダイアモックス	1	ヒマラヤの残り4錠
	胃腸薬(征露丸)	1	
	胃薬(サクロン)	1	
	バンテリン	1	
	救急用品	1	
	日焼け止め	1	
	リップクリーム	1	
	ホッカイロ	5	
食品	カップ麺	2	
	ゼリー状カロリー食	1	
	ポカリスエット(粉末)	5	
	あめ、チョコレート		
	ガリバルジー	1	
お金	円		
	ドル		
その他	パスポート		

【スワヒリ語】

現地の日常会話はスワヒリ語です。ジャンボ（こんにちは）、アサンテ（ありがとう）etc
（旅のスワヒリ語）

言葉	意味・使いどころ
ジャンボ (Jambo)	おはよう、こんにちは などの出会い挨拶全般。アフリカ人と出会った時、非常によく使います。登山中に向かい側から人が来たら(特にアフリカ人)、元気よく「Jambo!」応えましょう。
アサンテ (Asante)	ありがとう 。登山中、ガイドにお世話になる事は多々あるので積極的に使いましょう。「アサンテサーナ(Asante sana)」で、Thank you very much の意味になる。
タム (Tamu)	おいしかった 。登山中、一部のポーターがご飯を作ってくれます。不便なところに、わざわざ食材を運んでくれて作ってくれているので、お礼の意味を込めて「タムタム！」と言いましょう。
ニメシバ チャクラ (Nimeshiba Chakura)	お腹が一杯です 。チャクラがご飯の意味。お腹が一杯になったら給士の人に言いましょう。
ツタオナーナ (Tutaonana)	また会いましょう 。別れ際に言う気持ちよく別れられるので、僕的には重要単語。
キドゴ トウ (Kidogo tu)	少しだけ 。「お前はスワヒリ語を話せるのか」と聞かれたときに使うものすごうける。
サワ サワ (Sawa sawa)	O.K.、good! 相手の意見に納得したり賛成したりするときにつかう。
ハバリ ガニ? (Habari gani?)	お元気ですか? これを言うと、相手は「Nzuri(元気です!)」「Poa(最高さ!)」と応える事が多い。登山中は、疲れる事が多いので非常によく使います。

ミミ ニ ムム (Mimi ni ムム)	私はムムです。ミミ=私は、ニ=です。「ミミニジャパニ(私は日本人です。)」が代表的。
ベイ ガーニ? (Bei gani?)	いくらですか? キリマンジャロ登山、サファリ共に、旅行会社で支払って後は会社に任せて、自分でお金を払う機会が極端に少ないのでほとんど使いません。バックパッカーの人は常にお金を支払うので頻繁に使うと思います。
moja,mbili,tatu	1, 2, 3 写真を撮るときに使います。
nne,tano,sita,saba	4, 5, 6, 7
nane,tisa,kumi	8, 9, 10
ポレ ポレ (Pole pole)	ゆっくり アフリカは悠久の時間が流れるポレポレ世界。そして、キリマンジャロは大半の人が何らかの高山病の症状が出る過酷な世界。高山病の大きな対策の一つとして、ゆっくり登って高度順応すること。そこでガイドはかなり頻繁に「ポレポレ」と言ってきます。高地でハイペースになると、「モトキ、ポレポーレ!」と前、後ろから言葉が飛んできます。キリマンジャロでは必須の言葉です。
ニメチョカ サーナ (Nimechoka sana)	非常に疲れました。 登山中、疲れたときに言いましょう。
シジャチョカ (Sijachoka)	疲れていません。 登山中、「疲れたか?」と聞かれたときに元気満々の時に、言ってやりましょう。
ハクナ マタタ (Hakuna matata)	大丈夫! 同じく登山中、「疲れたか?」と聞かれたとき、さらに元気よく言ってやりましょう。お土産屋さんにおいてあった CD の音楽がこのフレーズを連呼してたのをよく覚えています。
ポーレ ナ カジ	お仕事お疲れ様です 登山中、重そうな荷物を持ったポーターの人々とすれ違う事が頻繁にあります。それも一日中です。そういった人々に、この言葉をかけてあげると、「アサンテ!(ありがとう)」と

(Pole na kazi)	いって喜んでくれます。
(ハヤ) トウェンデ！ ((Haya) twende!)	(さあ) 行きましょう！ Let's go!のようなニュアンス。休憩中、出発するときに使います。登山中、ガイドは割りと休憩からの出発を急かしてくるときがあります。特にキリマンジャロ頂上付近ではかなり急かしてきます。かなりの高度なので、高山病を防ぐためには早めに着いて早めに下山するのが最良の策と考えているからでしょう。休憩中、ガイドは「twende!」を「早く行こう!」のようなニュアンスで頻繁に使います。また、自分達もはやく出発したいときに使います。ポレポレと同様に相当耳にすると思うので、覚えておくと良いでしょう。
マンボ！⇒ポア！ (口で言われたのをメモしていないので つづりが分かりません)	元気か！最高だよ！ キリマンジャロ登山中、この挨拶もいけどなく展開されます。この挨拶は、若者の間だけで使われている非常にカジュアルな挨拶です。振り付けもありますが、それは現地人と直接交流して教えてもらってください。
シママ (Simama)	止まって！ サファリで見たい動物が近くに来たときに運転手に叫ぶと車を止めてくれます。「シマウマ」に近いので注意。「あっ、シマウマ！」と叫んでも止まってしまう可能性があります。

それでは皆さん、行ってきます。

 [本篇へジャンプ。](#)